

## 第19回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成28年2月3日（水）午後2時00分～午後2時36分
2. 開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
3. 出席者 11名（委員17名中、本人出席7名、代理出席3名、欠席7名内委任状提出者7名、オブザーバー1名）
4. 事務局 LLCまちづくり甲府
5. 議事 甲府市中心市街地活性化基本計画の変更について
6. 議事要旨

開会の後、進藤会長は「前回から8か月ぶりの開催である。前回は内閣総理大臣の認定から約半年間経過した時点での甲府市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について検証していただいた。本日はこの基本計画の一部を変更するにあたり甲府市から意見照会があったので、このことについて甲府市から説明をいただいた後、委員各位の意見を伺う」旨のあいさつを述べた。その後、規約により議長に就任した。

### 議題1) 甲府市中心市街地活性化基本計画の変更について

議長が、内閣府に提出する甲府市中心市街地活性化基本計画の変更内容について甲府市に対し説明を求め、この求めに応じ、甲府市まちづくり課飯田課長、金子係長が説明を行った。

説明の概要は以下のとおり。

#### 1. 本協議会開催の趣旨について

一昨年（2016年）の10月17日に内閣総理大臣から「甲府市中心市街地活性化基本計画」の認定を受けたが、本計画については変更の都度、当協議会から意見を提出いただいたうえで計画変更を申請し、改めて国から認定を受ける必要がある。

認定後1年3か月が経過し、その間各種事業を推進してきたが、今般、新規追加事業2件を含む計画変更をすることになったため、本協議会の委員からの意見を付す中で、国へ計画変更の申請をするため、本協議会を開催させていただくこととなった。

なお、計画変更の申請は2月中旬、変更に係る認定を3月下旬に予定している。

## 2. 本計画の変更内容について

配付資料に基づき、新規追加事業の内容、既存事業の変更内容、国の支援措置の活用可否に関連した事業の位置付けの変更等について説明がなされた。

甲府市からの説明を受けた後、議長が会議に意見を求めたところ、委員から以下の意見等が出された。

質問①： かすがもーるの周辺道路整備事業について、事業内容を具体的に説明してほしい。

回答①： 詳細に決定しているわけではないが、かすがもーるについては、車道と歩道の境となるブロックを低くし、歩道部分をきれいにする。現在「デュオヒルズ甲府」が建設途中であるがその東側部分のモールを撤去し開放的にすることを検討している。また、エル西銀座については、車道の壊れている部分の整備とあわせて歩道の整備、裏春日通りと弁天通りについては、道路のタイルが剥がれている部分をきれいな舗装にすることを検討している。

意見②： 「デュオヒルズ甲府」の東側部分については、建設プロジェクト事業者から3mセットバックすると聞いている。その空間を利用すれば、道路使用許可をとらずにイベントを実施することが可能となる。事業者、商店街、行政の3者が連携して、快適性・利便性の高い空間となるよう、長期的な視点に立った開発に取り組んでいただきたい。

回答②： 事業者が立ち上げた「甲府まちづくりラボラトリー」、商店街、行政で今後協議を進めながら、有意義なエリアの活用を検討していきたい。

意見③： 「甲府駅南口周辺地域景観整備事業・平和通り」では、中心市街地への来街者のアクセス利便性が優先されているが、地域住民の利便性・快適性の確保・向上も考慮していただきたい。地域住民からは横断歩道の設置場所が適切ではないという意見も出ており、今後、甲府市・山梨県に申し入れをする予定である。

回答③： 南口周辺地域の景観整備事業に関連して、甲府城南側の社会教育センター、旧甲府税務署跡地、県民会館跡地の活用について、山梨県・甲府市合同で検討を進めており、有識者等で構成される検討委員会において、基本計画が本年度中に策定される予定である。その計画には、回遊性の向上としてお城回りから中心商店街への歩行空間の整備も盛り込まれると思われるので、引き続き、甲府市都市計画課と連携や協議を図って行きたい。

また、中心商店街においては、かすがもーる、エル西銀座、裏春日通り、弁天通りの歩行空間の整備を行い、来街者ばかりでなく、周辺住民にも快適な歩行環境の向上を図っていく。

意見④： まちなか回遊道路整備事業において、甲州夢小路から東京ガス南側を経由し踏切方面への道路を整備していただいた。さらに南側に抜けて社会教育センター方面へ行く道路については、既存道路の歩道部分をグリーンにペインティングしただけではあまり意味がないのではないか。道路東側部分にも歩道をきちんと造って、社会教育センター方面へつながる、本当の意味での回遊道路を整備してほしい。

甲府城南東に「曲輪稲荷」があったとされ、道が狭く「曲輪稲荷」が造れないとの話も聞くので、周辺道路を拡幅するなどし、甲府城周辺の回遊道路を整備していただきたい。

回答④： 歩道については、甲府城の石垣と一体感が持たせられるような整備をしていく。「曲輪稲荷」周辺の道路拡幅については、甲府市都市計画課に要望があったことを伝える。

意見⑤： リノベーションは空き店舗対策として有効な手段と考えるが、物件の所有者との協議等で時間を要し、事業実現に至るまで数年かかる事例も多く、そのコストの一部が入居者に転嫁される場合もある。

すぐに出店を希望される事業者や初期投資や賃料を低く抑える中で出店を希望される事業者もいるなど、出店希望者のニーズも様々であり、また、手間やコストをあまり掛けず利用できる空き店舗もある。リノベーションの普及・啓発と並行して、甲府市が運営する「不動産バンク」による空き店舗情報の発信強化にも取り組んでいただきたい。

議長がその他に意見等がないことを確認し、議事終了を宣し閉会とした。

以 上